

活弁は、昔の無声映画に語りをつける日本独自の芸能です。かつて浅草は、日本一の映画興行街として栄え、多くの活弁の弁士たちは浅草でその話術を磨きました。老若男女問わずお楽しみいただけますので、どうぞお気軽にお立ち寄りください。

みんなが活弁を楽しまい！

か
ら
へ
ん

活弁演目…
 「**国定忠治**」
 「**血煙り高田の馬場**」
 「**血煙り荒神山**」
 「**実録忠臣蔵**」
 「**チャップリンの短編作品**」等

麻生八咫

令和8年**4月19日**(日)
 開場13:45 開演14:00 (終演予定16:00)

浅草文化観光センター6階
 多目的スペース (台東区雷門2-18-9)

料金:無料

出演: やた こやた
麻生八咫、麻生子八咫

活弁教室の有志たち
 五十子認 江口裕行 柿崎拓哉 加藤金治
 木村理恵 小西健司 鈴木恵子 前田昌彦
 松原匠 宮永真幸 明珍亜依

※都合により出演者が変更になる場合がございます。予めご了承ください。
 主催:浅草活弁祭り実行委員会 後援:台東区

PROFILE

活弁士/麻生八咫 (あそうやた)
 獨協大学卒業後、役者として一人芝居「日傘と判刀」全国400回公演、活弁士・池俊行の活弁「坂本龍馬」との感動の出会いにより活弁士となる。1995年文化庁主催「ジャパン映画フェスティバル」(イタリア)公演。1998年活弁界初の文部大臣賞を受賞。2005年より「麻生やた・こやたの活弁教室」を主宰し後進育成にも尽力。毎年「活弁と浅草オペラの浅草パラダイス」公演主催。毎月第2・第4土曜日に定期活弁公演(浅草ビューホテルアネックス六区1Fレストラン「ブロードウェイ六区」)を行なう。地域活動にも力を注ぎ、「大分県かぼす特命大使」、埼玉坂本龍馬会名誉会長、大分県豊後大野市「ふるさと大使」も務める。朗読CD「名人伝/山月記」発売中。
<https://katsuben.com>

活弁士/麻生子八咫 (あそうこやた)
 活弁士・麻生八咫を父に持ち10歳で浅草木馬亭よりデビュー。2003年第48年全国青年弁論大会・文部科学大臣杯受賞。2008年高校英語教科書「All Aboard II」(東京書籍)に「A Young Katsubenshi」として紹介される。2016年親子活弁記念切手発売。2020年東京大学大学院満期退学、日本弁論連盟理事、「月刊浅草」副編集長。台東区観光情報発信サイト「TAITOおでかけナビ」ライター。東京ランニングフェスタ「結びび大使」、埼玉県鴻巣市「このす観光大使」、大分県豊後大野市「ふるさと大使」。英語活弁や可会、講演、脚本・演出、映像制作、ドラマの監修、多岐にわたる芸能とのコラボレーションなど、多彩な舞台表現で活弁の魅力を広げている。
 インスタグラム:@koyataaso YouTube:@AsoKatsuben